

大田区

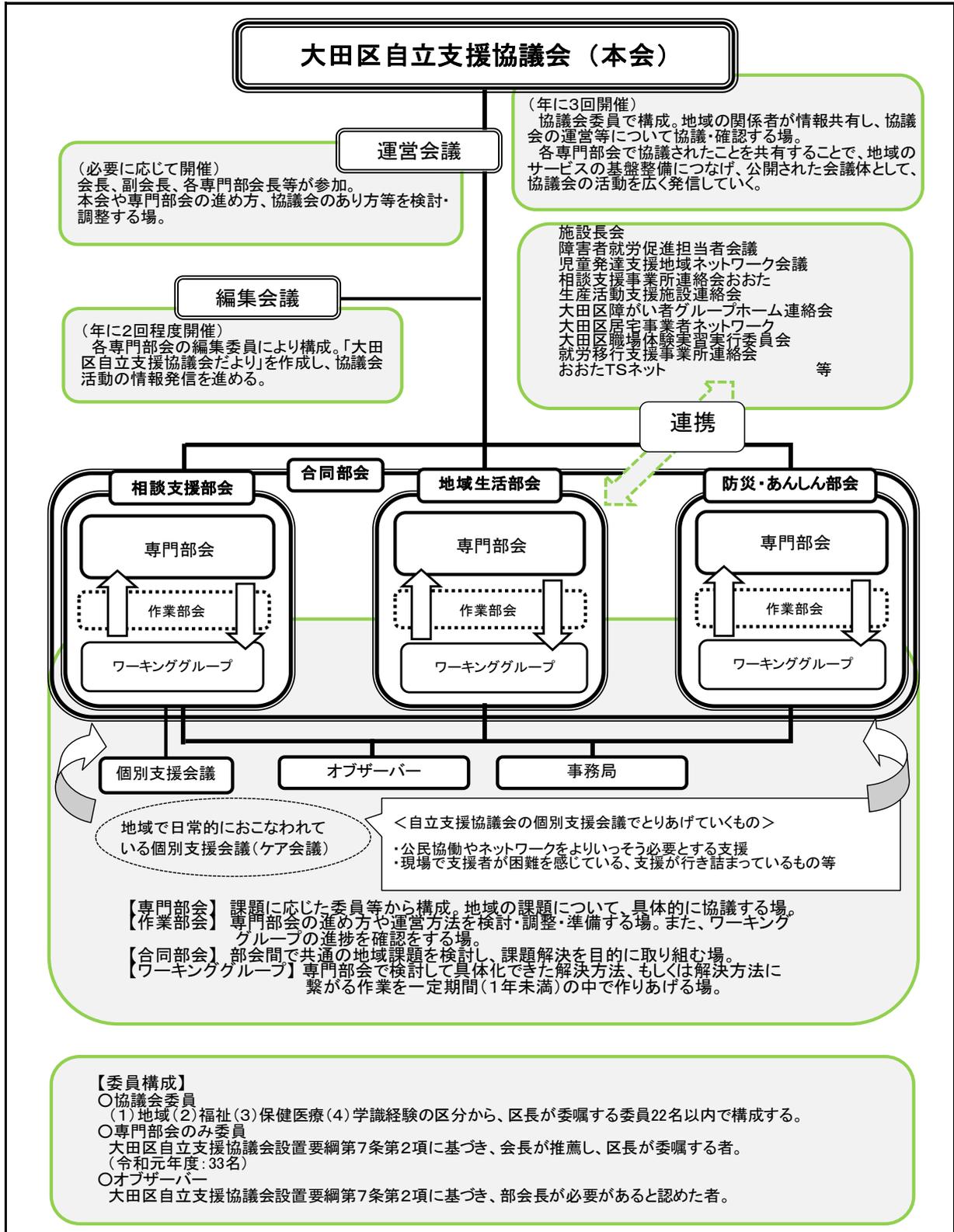
【名称】 大田区自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/shougai/kaigi/kvogikai/index.html>

【設置年月】 平成20年7月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
1	0	7	6	40	15

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	平成29年7月	多機能拠点整備型+面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
2	22 (4)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	6	17 (0)
地域生活部会	9	22 (1)
防災・あんしん部会	6	15 (5)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1)委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	3	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	8	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	0
障害福祉サービス等事業者	7	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	1		
合計	22				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	白井 絵里子	松山東雲女子大学 人文科学部	学識経験者	
2	副会長	山根 聖子	大田区手をつなぐ育成会	障害当事者・家族・関係団体	
3		蛭子 明子	大田区肢体不自由児者父母の会	障害当事者・家族・関係団体	
4		青山 明子	大田区重症心身障害児(者)を守る会	障害当事者・家族・関係団体	
5		田邊 俊子	NPO法人 大身連	障害当事者・家族・関係団体	
6		遠藤 文夫	大田区肢体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
7		宇田尻 浩司	大田区視力障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
8		一色 隆雄	大田区聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
9		古怒田 幸子	大田区精神障害者家族連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
10	副会長	神作 彩子	大田区立障がい者総合サポートセンター	相談支援事業者	
11		宮坂 貴子	大田区立久が原福祉園	障害福祉サービス等事業者	
12		鈴木 啓太	NPO法人ライフサポートかたつむり 糞谷作業所	相談支援事業者	
13		鶴田 雅英	社会福祉法人東京コロニー 東京都大田福祉工場	障害福祉サービス等事業者	
14		伊藤 朋春	株式会社ナイスケア	障害福祉サービス等事業者	
15		宮崎 渉	NPO法人ふあみりーサポートちききネットくれよんくらぶ	障害福祉サービス等事業者	
16		相原 美晃	社会福祉法人大田幸陽会 障害者生活ホーム	障害福祉サービス等事業者	
17		志村 陽子	おおたTSネット	その他	
18		宮嶋 祐紀子	東京都立矢口特別支援学校	教育関係機関	
19		藤野 絵里子	東京都立田園調布特別支援学校	教育関係機関	
20		伊藤 美和子	東京都立城南特別支援学校PTA	教育関係機関	
21		吉田 昭子	社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	社会福祉協議会	
22		大宮 謙一	東京都保健医療公社 荏原病院	医療関係者	

(2) 活動内容

今年度は専門部会を5部会から3部会体制に再編し、前年度から引き継いだ地域課題を整理し、切れ目のない協議会活動を実施。また、課題解決に向けた方法について少人数で検討するワーキンググループという活動を新たに開始した。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	部会		
	相談支援部会	地域生活部会	防災・あんしん部会
学識経験者	0	1	0
医療関係者	1	1	0
保健所	0	0	0
教育関係機関	0	2	2
雇用関係機関	0	0	0
企業	0	0	1
障害当事者・家族・関係団体	2	4	7
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	8	1	0
障害福祉サービス等事業者	4	12	3
社会福祉協議会	1	0	0
法曹関係者	1	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	1	2
計	17	22	15

(2)活動内容

部会名称	活動内容
相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議の実施(①相談支援側からみた児童の課題、②障がい者本人の高齢化、家族や支援者の高齢化に伴う課題) ・大田区の相談支援体制の検討 ・障害福祉サービスと介護保険サービスの適用関係について、ケアマネジャーと相談支援専門員の共通理解を図るためのシートVer.1を作成
地域生活部会	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児、者(医療的ケアが必要な方)の地域生活についての検討 ・就労を目指す上で、18歳までに必要な準備と障害児サービスのつなぎの検討 ・区内日中活動支援施設へアンケートの実施および集約、就労定着支援事業の実態調査に向けたアンケート(案)の作成 ・各障害福祉サービスに関する情報提供の現状確認、既存のリストの点検および今後に向けての提案の検討 ・「障がいのある方の地域での多様な暮らし」をテーマとした公開セミナーの実施
防災・あんしん部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーを招き学習(①権利擁護について、②障害者差別解消法について) ・福祉避難所開設準備訓練(矢口特別支援学校)、地域総合防災訓練(東六郷一丁目町会)への参加 ・福祉避難所開設協定施設を中心としたアンケートの実施、集約 ・自助、共助のツールとして「ヘルプカードミニ事例集Vol.1」を作成、周知 ・風水害から身を守る！自分の避難計画を作ろうをテーマとした公開セミナー「マイ・タイムライン学習会」の開催

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項(複数回答)

① 相談支援事業の運営体制に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)相談支援部会参照

② 就労支援に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)地域生活部会参照

③ 地域移行・地域定着支援に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)地域生活部会参照

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)相談支援部会参照

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)相談支援部会参照

⑥ 関係機関や他分野のネットワークに関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照

⑦ 社会資源の開発及び改善に関する事

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)防災・あんしん部会参照

⑨ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)地域生活部会参照

⑩ 障害福祉計画等に関すること

運営会議において、各専門部会で抽出した地域課題や取り組みを障害福祉計画に対応する形にまとめ、検証・評価を行う「大田区障がい者施策推進会議」で報告

⑪ 地域自立支援協議会の運営に関すること

運営会議で次年度の協議会体制について協議し、本会において意見交換を行った。

2 協議会としての役割(複数回答)

① 情報の顕在化

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑦⑧

② 情報共有・情報発信

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑦⑧参照

③ 分野を越えてのネットワークの構築

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑧参照

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑦⑧参照

⑤ 地域課題の整理

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑦⑧参照

⑥ 課題解決に向けての検討

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-3②④⑥⑦⑧参照

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

【地域協議会の活動状況】1⑩参照

⑧ 社会資源の開発及び改善

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照
【地域協議会の活動状況】3-②参照

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

【専門部会の委員構成及び活動内容】(2)相談支援部会、地域生活部会、防災・あんしん部会参照

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法(複数回答)

- ①アンケート、ヒアリング等
- ②全体会、専門部会、各種連絡会等
- ③個別支援会議

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容(複数回答)

① 相談支援の質及び量

○重層的な相談支援体制の確認をし、基幹相談支援センターや障害者相談支援事業の現状報告をふまえ、特に、第2層「一般的な相談」について検討し、解決の方向性をまとめた。

② 社会資源の開発及び改善

○ケアマネジャーと相談支援専門員が制度について、共通理解を図る障害福祉サービスと介護保険サービスの適用関係をまとめた資料を作成した。
○各障害福祉サービスの利用に関する情報リスト(一覧や冊子)の点検を当事者、家族、サービス事業者、行政と共に行い、既存の資源の活用方法および改善に向けた提案をまとめた。

③ 権利擁護・虐待防止

○今年度から「防災・あんしん部会」が権利擁護の視点を加えて活動を開始。初年度は、弁護士をゲストスピーカーに招き、権利擁護や障害者差別の視点を共有した。

④ 高齢福祉分野との連携

○障害福祉サービスと介護保険サービスの連携のために、「わたすツール」と「つながるツール」を具現化する。それぞれの制度の重なる部分と適用関係を示した説明資料を作成
○個別支援会議に家族の高齢化や支援困難を理由とした施設入所について、家族全体を支援する視点、サービスの介入のタイミングについて検討

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

○地域生活支援部会の「区内施設(日中活動支援)現状確認」ワーキンググループでは、区内の調査対象108施設に実態調査を実施し7割の回収率を得た。
○調査結果では、事業を問わず人材不足が共通の課題であることがわかった。

⑥ 緊急・災害等対応

○区内の要配慮者支援先となる福祉避難所開設協定施設を中心にアンケートによる現状調査を実施
○福祉避難所開設準備訓練・地域総合防災訓練に参加。ブースを設置し、地域との交流及びヘルプカードの普及・啓発活動を実施
○風水害対策、身を守る判断をするためのツール「マイ・タイムライン」について学ぶ学習会を開催し、自立支援協議会から発信した。

⑦ 医療的ケア

○重症心身障がい児者の地域生活の継続について、医療機関と障害福祉サービス事業所のゲストスピーカーから話を伺い、短期入所事業を中心とした現状について学ぶ機会を設けた。
○今後も地域生活部会を中心に支援体制について検討を継続する。

⑧ 障害児支援

○個別支援会議を通じて区内の児童の課題について検証。障がいの理解啓発、セルフプランのサポートやプランの立て方の研修企画や働く親の相談先、親同士が繋がることのできる場所の構築について必要性の再確認を行った。
○区内福祉サービスを年齢別にまとめた「発達支援マップ」の活用方法をワーキンググループで検討した。

⑩ 就労支援

○制度化された就労定着支援事業の区内での検証と今後の就労定着支援についての考察のために、地域生活支援部会の「就労定着支援の調査・分析」ワーキンググループで、調査内容を検討し調査票を作成した。

⑫ ライフステージを通じた支援

○相談支援部会では、個別支援会議で、相談支援における児童の課題を取り上げ、ライフステージを通じた支援において伴走的な相談支援のありかたや家族の高齢化に伴う支援の難しさを当事者の視点で検討しつなぎの課題を抽出。【問題解決については上記3-3④⑧を参照】

4 協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)が参加していくにあたり、取り組んでいること、課題になっていること

・ヒアリンググループ(必ずマイクで名前を言ってから話すルールも含めて)、手話通訳(聴覚障害)、データ化した資料の事前配布、ガイドヘルパー(視覚障害)、活動の不安の聴き取り(精神障害)の配慮を行っている。
・防災・あんしん部会では、40代～70代の身体障害(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由)のある方が参加。部会の前に30分程度の事前打合せ会を開き、当日の議事進行の説明や発言依頼等を行っている。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけではなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸いあげられる協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

・各障害者団体から委員を推薦・選出しているので、団体メンバーの声を協議会活動にも反映可能
・障害者団体の課題でもあるが、新しいメンバーが入らず、同じ障がいのある住民の多くの声とは言い難い状況もある。